

平成26年6月18日

教育委員会第4回臨時会記録

石巻市教育委員会

教育委員会第4回臨時会記録

◇開会年月日 平成26年6月18日(水曜日) 午後 1時58分開会
午後 2時23分閉会

◇開催の場所 201会議室

◇出席委員 5名

委員長	阿部邦英君	委員(委員長職務代行者)	津嶋ユウ君
委員	今井多貴子君	委員	窪木好文君
教育長	境直彦君		

◇欠席委員 なし

◇説明のため出席した者の職氏名

事務局長	木村和雄君	事務局次長	草刈敏雄君
事務局次長 (震災復興担当)	太田敏彦君	教育総務課長	末永秀夫君
生涯学習課長兼 複合文化施設 開設準備室長	佐藤徳郎君		

◇書記

教育総務課 課長補佐	石井透公君	教育総務課 課長	横山貴光君
教育総務 課長	阿部恭子君		

◇付議事件

審議事項

第30号議案 石巻市複合文化施設整備基本構想案について

その他

午後 1時58分開会

○委員長（阿部邦英君） ただいまから平成26年第4回臨時会を開会いたします。

本日の会議ですが、欠席委員はありません。

会議録署名委員の指名

○委員長（阿部邦英君） それでは、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は津嶋委員さんをお願いします。よろしく願いいたします。

第30号議案 石巻市複合文化施設整備基本構想案について

○委員長（阿部邦英君） それでは、本日の案件に入ります。

本日の案件は、審議事項が1件及びその他となっております。

それでは、審議事項に入ります。

第30号議案 石巻市複合文化施設整備基本構想案についてを議題といたします。

複合文化施設開設準備室長さんから説明をお願いいたします。

○生涯学習課長兼複合文化施設開設準備室長（佐藤徳郎君） それでは、私から石巻市複合文化施設整備基本構想案について説明いたします。

震災により壊滅的な被害を受けた石巻文化センターと石巻市民会館につきましては、平成23年12月に策定しました震災復興基本計画において、博物館機能と文化ホール機能を持つ複合文化施設を文化活動の拠点として整備することとしており、今回、その基本構想案について提案するものでございます。

本構想は、文化団体及び市民より早期建設についての要望もあり、昨年度、市民代表による複合文化施設整備市民懇談会を立ち上げて意見の聴取を行うとともに、庁内的には、関係各部の課長等による基本構想検討委員会において検討を重ね、まとめたものであります。

この基本構想に基づき、建設場所、建設手法等の決定を経て、市民懇談会等の場を通じ市民の方々のご意見を伺いながら、基本計画を策定する予定としております。

それでは、お手元に配付した資料のうち、ダイジェスト版に基づき説明をさせていただきます。

それでは、資料の2ページをお開き願います。

まず、1の文化施設の状況把握と考察。

1-2、現在の状況から考察できる施設内容についてであります。整備を検討する施設は、博物館、大ホール、研修室等となります。また、災害時等における公共施設としての役割も考慮すべきと考えます。その理由につきましては、(1)から(4)のとおりでございます。

次に、1-3、複合施設にする理由についてであります。建設・維持管理の側面と相乗効果の面から多くのメリットが期待できます。

まず、建設・維持管理の側面につきましては、共有できる機能があり、コンパクトにすることで建設費を抑えられる可能性が高いこと。人員集約による人件費の削減により、維持費の大幅な抑制が期待できること。駐車場スペースを必要最小限に抑えることができるというようなメリットがございます。

また、相乗効果の側面からは、利用者の活動分野が広がること。団体交流により新たなコミュニケーションが生まれること。コラボレーション企画により多くの参加者を期待できることなどのメリットが挙げられます。

次に、2の施設構成について説明いたします。

3ページをごらん願います。

施設構成のイメージ図が掲載してございます。これは平面図ではなく、施設構成のイメージを図であらわしたものでございます。大きく、大ホールゾーン、小ホールゾーン、生涯学習ゾーン、博物館ゾーン、管理ゾーンの5つのゾーンに分けられます。

次のページをお開きください。

各ゾーンの施設規模について、主なものについて説明いたします。

まず、大ホールは最大1,500席程度とします。次の段の小ホールにつきましては、300席程度とします。これは河北総合センタービックバンが400席、河南の遊楽館が500席ありますので、それとの機能分担を考慮したものでございます。席は電動の可動席とすることにより、スタジオ的なホールとして大リハーサル室も兼ねるとともに、災害発生時には多用途に利用できるものとします。

隣のページ、5ページの博物館機能でございますが、展示ゾーンにつきましては、中心市街地活性化事業で実施されるかんけい丸保存活用事業において、かんけい丸を整備いたしますので、そちらのほうもサテライト展示をするということで考慮に入れたいと考えております。

常設展示室につきましては、石巻の歴史・文化展示、高橋英吉コーナー、毛利コレクションミュージアムのほか、先人展示を考えております。先人展示につきましては、川村孫兵衛、フランク安田、布施辰治弁護士などの展示を考えております。

収蔵・調査研究ゾーンにつきましては、保管物品に合わせ湿度設定の違う収蔵室3室を整備いたします。その他、共用・管理ゾーン等を合計しまして、延べ床面積は、5ページの右下にございますけれども、1万3,650平米を想定しております。これは従来の市民会館と文化センターを足した面積より4,100平米ほど増床しておりますが、これは従来の市民会館大ホールの座席が、ご承知のとおりちょっと狭かったんですけれども、現在の文化ホールの標準的な座席サイズは若干それよりも1つ当たりの面積が広がっておりますので、それによる増床、あるいは舞台につきましても、近年の同規模の文化ホールにおける標準的な舞台面積に合わせて、奥行きや両袖のスペースを広くとっていること、また、トイレの数をふやすことなどによるものでございます。

これらの規模につきましては、今後基本計画の中で事業費、財源等と連動させながら検討してまいります。

次に、6ページの整備場所の検討についてでございます。

建物の延べ床面積を1万3,650平米と想定した場合、おおむね2万平米以上の敷地が必要となることから、候補地としては、震災前に（仮称）石巻市民文化ホール基本構想において検討しました大橋地区、開成地区の2カ所に3カ所を加え、5カ所を想定しております。場所は、①の渡波地区、鹿妻小学校付近、②の大瓜地区、総合運動公園付近、③の開成地区、トゥモロービジネスタウン内、④の大橋地区、石巻消防本部隣、⑤の井内地区、字4番、5番でございます。

次のページをお開き願います。8ページでございます。

8ページに候補地の評価表を載せております。今後この敷地特性をよく吟味するとともに、候補地の中には現在仮設住宅の用地となっている場所もございますので、その点につきましても関係各部と協議しながら慎重に考慮し、全庁的に検討を行った上で、必要なプロセスを経て用地を決定する予定でございます。

次のページをごらん願います。

建設手法でございますが、9ページには市が直接発注を行う直営方式、次の10ページには民間の資金と経営能力、技術力を活用し、建設・維持管理・運営までを行うPFI方式、その下には、民間の資本により整備してそちらを利用するリース方式を載せております。これらの手法を、事業スケジュールやそれぞれのメリット、デメリットを比較検討しながら、採用可能性について検討してまいります。

次に、11ページの運営手法についてであります。管理運営方式は直営方式、指定管理者

制度のいずれかになります。これにつきましても、より効率的な維持管理という観点から検討してまいります。

次のページ、最後のページをごらん願います。

運営計画についてでございます。基本的な運営主体、運営組織の考え方はここに示したとおりでございますが、これにつきましても、今後さまざまな角度から検討し、まとめていきたいと考えております。

なお、本構想では事業費、財源等については言及しておりませんが、それにつきましては、今後基本計画を策定する中で詳細に検討してまいりたいと考えております。

以上で基本構想案の主な内容の説明を終わります。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○委員長（阿部邦英君） では、ただいまの説明に対しまして、ご質疑等ありましたらお願いします。

はい、津嶋委員。

○委員（津嶋ユウ君） 質問よろしいですか。何点かあるんですが、まず1点、ダイジェスト版でということなので、ちょっとわからなかったのかなと思うんですが、2ページの最初の1-2のところの（1）、「前節の検討から、博物館と大ホールについては、必ず同規模で整備すべき施設となります。」と、そのところがちょっとまだ納得、何かよくわからないですが、前節の検討というのはどの部分を指すのかということと、必ず同規模でなければならないという理由がよくわからないのですが、お願いします。

○委員長（阿部邦英君） 生涯学習課長兼複合文化施設開設準備室長、お願いします。

○生涯学習課長兼複合文化施設開設準備室長（佐藤徳郎君） 本体版のダイジェスト版ですので、前節の検討からというのが、こちらのほう載せておりませんが、前節の検討と申しますのは、文化センターと市民会館が被災してどちらも解体したということで、東松島市等、近隣市も含めまして、博物館につきましては同じような施設がないと。またホールにつきましても、市民会館は1,362席あったんですけれども、現在遊楽館、ビッグバン、それと東松島のコミュニティセンター等を入れましても、そのような大規模な式典等を行うホールがないということで、博物館と大ホールについては、被災前の市民会館、文化センターと同規模で整備すべき施設となるということでございます。

○委員（津嶋ユウ君） ああ、同規模ってのは、被災前のこの市民会館……

○生涯学習課長兼複合文化施設開設準備室長（佐藤徳郎君） ええ、被災前の規模は確保すべきであると。

○委員（津嶋ユウ君） 確保すべきという意味ですね。ああ、私、ここの文章だけ読むと、博物館と大ホールが同規模になるべきというふうなふうにとったものでしたから、なぜなんだろうなと思って。ええ、わかりました。3ページの図とも違うし、何とか考えていたんですが、わかりました。被災前と同規模以上にすべきだということですね。はい、わかりました。

あともう一つ、すみません。

○委員長（阿部邦英君） どうぞ。

○委員（津嶋ユウ君） 今度3ページのイメージですが、先ほど平面図ではありませんというお話、つけ加えられたので、ああそうかと思って。最初これ平面図なのかなと思って、すごく広くこうやってやるのかなと思ったんですが。平面図でないということは、どこかが上のほうに来るといふか、そういうことですか。何階建てとかという構想とかまであるんでしょうか。その辺はどうでしょう。

○生涯学習課長兼複合文化施設開設準備室長（佐藤徳郎君） まだ、具体的な施設の設計等については今後の検討ということで、まだそこまでは、その検討までは至っておりません。

○委員（津嶋ユウ君） こういう部分が必要である、こういうゾーンが必要であるということ、こう並べたといふか。

○生涯学習課長兼複合文化施設開設準備室長（佐藤徳郎君） そうです。

○委員（津嶋ユウ君） そういうふうにとればいいですか。はい、わかりました。

○委員長（阿部邦英君） ほかにございませんでしょうか。

きょうの会議でこの原案どおりとなった場合は、あとどういうふうな進め方をするんでしょうか。

○生涯学習課長兼複合文化施設開設準備室長（佐藤徳郎君） この基本構想に基づきまして、まず庁内組織であります調整会議、関係各部の課長等からなります調整会議を立ち上げまして、そちらのほうでまず建設場所の決定、それから建設手法、直営にするか何かというようなことを決定してまいります。その決定を経まして、この基本構想をより具体的な内容としました基本計画を策定してまいります予定です。

以上でございます。

（発言する者あり）

○生涯学習課長兼複合文化施設開設準備室長（佐藤徳郎君） 本日ご承認いただきましたならば、20日、議会の初日の全員協議会のほうでこの内容を説明させていただく予定でございます。

○委員長（阿部邦英君） 臨時議会ありますよね、20日。

○生涯学習課長兼複合文化施設開設準備室長（佐藤徳郎君） 定例会の初日でございます。

○委員長（阿部邦英君） ああ、そうですか。はい。

委員さん方からほかにございませんか。

（「もう一ついいですか」との声あり）

○委員長（阿部邦英君） はい、どうぞ、お願いします。

○委員（津嶋ユウ君） 大ホールの要望というか、質問ですね、要望といたって仕方ないですね。大ホールについて1,500人規模ですか。客席1,500席程度ということでの案のようですが、これどちらでしたっけ、この厚いほうの冊子のいろんなアンケートのほうなんか見ると、できれば1,500から2,000ぐらいまで、1,500以上の席が欲しいみたいな……プロの方のご意見のほうは何かそういうふうだったんですよね。何かせつかく大ホールつくるんなら、もう少し規模を大きくとかできないのかなというのはちらっとは思ったんですが、これがぎりぎりということなのでしょうか。予算というのがあるし。

○委員長（阿部邦英君） 生涯学習課長兼複合文化施設室長、お願いします。

○生涯学習課長兼複合文化施設開設準備室長（佐藤徳郎君） 先ほども申し上げましたけれども、市民会館が1,362の固定席ということで、やはり1席ふえるごとに50万ぐらい単位でふえていきますので、その辺、事業費の兼ね合いも考えまして、最大1,500席程度ということで基本構想を策定しております。

○委員長（阿部邦英君） あとございませんか。

今井委員。

○委員（今井多貴子君） 今の事業費からして、ちょっと、整備候補地なんですけれども、2か所から5か所にふえたというんですが、これはふえた土地には大規模の地盤改良等の造成工事が全面に必要だっとなれば、それが前もってわかっていて、その事業費の削減をしていかなければならない中で、こういうところの改良費等、候補地①に関しても②に関してもあるわけですが、この候補地をふやした理由、その事業費がかかるだろうと見込まれているのにもかかわらず、ふやした理由というのは何なんですか。

○委員長（阿部邦英君） 佐藤室長、お願いします。

○生涯学習課長兼複合文化施設開設準備室長（佐藤徳郎君） 震災前の市民文化ホールの構想では、大橋地区、それから開成地区、どちらも市有地の構想でございましたが、今回の基本構想策定に当たりまして、地域的なバランス、あるいは交通、周辺環境、防災、災害対策とか、

そういった意味で選択肢をふやすということで合計5カ所を設定しております。

なお、ただいまのご指摘のように、事業費の削減というような課題もございますので、それにつきましては、今後の調整会議の中でその財源、事業費等も十分に議論して、1カ所に絞っていききたいというふうに考えております。

○委員長（阿部邦英君） よろしいでしょうか。

窪木委員。

○委員（窪木好文君） 今のご説明で、場所がふえたのわかるんですけども、ふやした形で、今度減らす作業ですね。どういうふうに候補地を減らして行って最終的に決めるのかというのは、それは調整会議でやるのか、それとも議会にかかっていくのか、それとも教育委員会のこういう会議の場でやるのか。どういうふうに進めていくのか、ちょっと教えていただけませんか。

○委員長（阿部邦英君） 佐藤室長、お願いします。

○生涯学習課長兼複合文化施設開設準備室長（佐藤徳郎君） 市立病院の用地決定過程と同じように、まず庁内の調整会議で選定をして、それを庁議、またはこの教育委員会のほうにかけて決定していきたいと考えております。議会のほうには報告という形になります。

○委員長（阿部邦英君） ほかにございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部邦英君） では、ないようでしたら、第30号議案 石巻市複合文化施設整備基本構想案については、原案のとおり進めていくとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長（阿部邦英君） それでは、異議がありませんので、第30号議案については原案のとおり可決いたします。

その他

○委員長（阿部邦英君） 審議事項を終了し、その他に入ります。

初めに、委員さん方からということ。

（発言する者なし）

○委員長（阿部邦英君） 各課長方から、何かありましたらお願いします。

（発言する者なし）

○委員長（阿部邦英君） では、ないようでしたら、次回の定例会の日程についてお願いいた

します。

○事務局（石井透公君） 次回6月の定例会につきましては、6月26日木曜日、午後1時30分から開催する予定です。場所につきましては、市役所本庁舎4階庁議室で開催します。よろしくお願いいたします。

○委員長（阿部邦英君） それでは、以上をもちまして本日の臨時会を終了いたします。

どうもありがとうございました。

午後 2時23分閉会

教育委員長 阿 部 邦 英
署名委員 津 嶋 ユ ウ